

オーミケンシレーヨン（株）加古川工場

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（平成20年度）

(1) 大気汚染防止対策

推進の内容	実施の成果
①ボイラー及びディーゼル発電機の点検・メンテナンスを実施しました。	ボイラー及びディーゼル発電機の安定運転及び効率的な運転ができました。
②エネルギーの使用合理化に関する中長期計画を進め、燃料の削減と燃料転換によりCO ₂ 、SO _x 排出量の削減に努めました。	ボイラー効率が、前年比2.2%向上しました。 CO ₂ 排出量を原単位で前年比2.6%削減しました。 燃料S分を前年比31%削減しました。

(2) 水質汚濁防止対策

推進の内容	実施の成果
①処理施設の点検・メンテナンス強化を実施し、水質の安定に努めました。	排水処理工程の安定に努めてまいりましたが、基準値、協定値を超過する事例が3件発生しました。
②排水処理沈殿槽の揚泥方法の効率化を継続して取り組み、揚泥の効率向上に努めました。また、揚泥作業における作業手順を見直し、作業の容易化に取り組みました。	これにより以下の対策を実施しました。 ①製造・設備・排水処理・環境管理部門による定例会議を実施し、排水処理工程の安定に向けた対策の立案、対策の進捗管理、対策の有効性の評価を実施すると共に、環境保全に対する意識の向上を図りました。
③設備異常に対し、警報装置を追加しました。	②設備異常による排水水質の悪化を未然に防止するために警報装置を追加設置しました。
④工程の見直し及び工程内作業手順の見直しにより、洗浄排水中のセルロース量の削減に努めました。	③製造工程の見直しにより、排水負荷が高く、汚泥の発生要因となるセルロース洗浄排水量を90%削減しました。 ④汚泥脱水機のメンテナンス強化と揚泥方法の改善により対策前に比べ2倍の汚泥の脱水が可能となりました。 今後、排水処理工程の運用の見直し、予備施設の有効活用を検討し、更なる排水処理工程の安定化に取り組みます。

(3)騒音、振動防止対策

推進の内容	実施の成果
①騒音・振動の発生源の点検を強化し、騒音の未然防止に努めました。	騒音測定値は、規制値以下の安定した値となっています。
②定期測定・パトロールを実施し、日常管理の強化に努めました。	

(4)悪臭防止対策

推進の内容	実施の成果
①処理施設の点検・メンテナンス強化、吸着塔内の活性炭の入れ替えを実施しました。	処理施設の安定した運転ができました。
②定期測定・パトロールを実施し、日常管理の強化に努めました。	悪臭測定値は、規制値以下の安定した値となっています。
③排水路の蓋を改修し、臭気の拡散防止に努めました。	周辺の臭気は低減しました。

(5)産業廃棄物対策

推進の内容	実施の成果
①工程の見直しにより産業廃棄物発生量の削減に取り組みました。	セルロース洗浄排水量を90%削減できました。
②委託産業廃棄物処理の管理を強化しました。	産業廃棄物の適正な処理ができました。
③産業廃棄物のリサイクル化に取り組みました。	汚泥をセメントの原・燃料にリサイクルできました。

(6)緑化対策

推進の内容	実施の成果
①緑化内容の向上に枯れ木の伐採・樹木の剪定を実施し、工場内の緑を維持し、環境整備に努めました。	環境の維持ができました。

(7)地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①地域町内会代表の方々と相互理解を図るため、工場見学等会合を持ちました。	相互理解を図ることができました。
②社内製品を中心にした謝恩セールを開催しました。	近隣の多くの方に来場して頂きました。

(8)その他

推進の内容	実施の成果
①環境月間に工場周辺の清掃を実施しました。	工場周辺の美化
②アイドリング・ストップ活動を展開しました。	運送業者に対し、構内アイドリング・ストップを周知徹底しました。
③関西エコオフィス宣言への賛同をしました。	節電・節水・暖房温度20℃以下、グリーン調達を実施しました。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /H)	22.2	14.8
	(t/年)	170.2	70.0

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

項 目		協 定 値	実 績 値
COD (kg/日)	通常	420	348
	最大	436	381
S S (kg/日)	通常	525	203
	最大	545	241
ノルマルヘキサン抽出物質 (kg/日)	通常	36	<19
	最大	37	<22

② 許容限度

項	目	協 定 値	実績値
P H	最小～最大	5.8～8.6	5.8～7.6
C O D (mg/L)	日間平均	20	18
	最 大	30	22
S S (mg/L)	日間平均	25	10
	最 大	30	17
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)	日間平均	2	<1.0
	最 大	3	<1.0
Z n (mg/L)	最 大	2.0	1.80

3. 環境保全活動

(1) 平成21年度基本方針

項目	内容
基本方針	<p>①技術開発 オーミケンシグループの総力を結集し、人と地球環境にやさしい技術開発に取り組み、環境対策を進めます。</p> <p>②環境保全 製品の設計・製造・販売・回収・廃棄にいたる全てのプロセスにおいて、環境に及ぼす影響を予測し、評価し、低減し、環境保全に努めます。</p> <p>③社会貢献 事業活動を通じてのみならず、地域社会の一員としても社会や地域の環境保護活動に積極的に参画します。</p>
組織体制	<pre> graph TD A["最高責任者 (代表取締役)"] --> B["推進責任者 (取締役工場長)"] B --> C["S R 生産 課長"] B --> D["研 究 所 長"] B --> E["衛 材 課 長"] B --> F["紡 績 工 務 課 長"] B --> G["原 動 課 長"] B --> H["設 備 ・ 設 計 課 長"] B --> I["化 繊 工 務 課 長"] B --> J["事 務 課 長"] B --> K["試 験 管 理 課 長"] B --> L["試 験 管 理 課 （ 事 務 局）"] </pre>

(2) 平成21年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
自動車公害対策	アイドリング・ストップの徹底	アイドリング・ストップ活動の推進継続
化学物質対策	・化学物質の漏洩の未然防止 ・化学物質使用量の削減	①化学物質の保管、在庫管理の適正化 ②施設の管理維持 ③PRTR法による化学物質の排出量、移動量の把握
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	CO2排出量を平成20年度比で3%削減	①廃熱の有効利用 ②熱利用設備の適正管理 ③省エネプロジェクト活動の推進
廃棄物対策	産業廃棄物の適正処理	委託産業廃棄物処理の管理強化
不法投棄防止対策	工場周辺の不法投棄を削減する	工場周辺のパトロール、清掃の実施
緑化対策	敷地内緑化の維持	緑化内容の向上に枯れ木の伐採樹木の剪定、除草の実施
グリーン購入	事務用品グリーン購入100%	事務用品グリーン購入の継続
環境教育	環境保全に対する従業員の意識の向上	省エネ、省資源活動を通じて、環境負荷の低減について啓蒙する。
地域社会への参画	行政等が行う環境保全活動への積極的な参加	①行政等主催行事への積極参加 ②工場周辺の美化活動
環境コミュニケーション	相互理解を図る	地域町内会代表の方々と相互理解を図るため、意見交換会等の会合を実施

騒音測定地点

